

刊夕日九十

[illegible]

日本政府の申告露通商局に提出せら
 京市に日露銀行を設立せんとする日
 將本日露貿易の進展に便せん爲め東
 一シユミツド氏の出發と關聯して
 生したるものなり 目下日露協會及
 日本政府と交渉中なる同氏は語て

巴氏京城出發

日入京朝鮮ホテルに滞在の中なる
 サンパウロ湖前農務長官ドクト
 パルロース氏一行は二十日午鐘
 三十分南大門驛發汽車にて退京
 に向ふ

利田氏支那行中止 村田

興威 ▲神宮落成式
 案の中より威興太神
 定の如く愈々去る
 以て其の第一御工事の落成を
 に至れり、就ては来る二十三
 祭を以て社殿に於て壯嚴なる
 を行はるべく、當日は投餅の外
 して煙火の打揚げ其他諸種の

○門司驛頭、ザボン、パイナップル、バナ、等南國の美果を味ひては大に恥守有進論者に相成り候。

其の第一習事の深處を告ぐ
 れり、就ては来る二十三日神
 社に於て壯嚴なる落成
 はるべく當日は授餅の外餘興
 煙火の打揚げ其他諸禮の催し

神宮落成と儀式
 中なりし盛興太神宮は
 定ぬく意々去る十六日

秋期宴遊會を催し模範店第
川郡其他本郡名産の華岳山
薩摩汁をも提供すと盛會な
察教棟射撃 春川警察署に松
六日野上署長以下三十六名
場に於て秋季教棟射撃を施
は有馬部長なりを▲慈善演
朝鮮鯉鉢捕魚團主事蔭隆氏

民其他在郷軍人の見送頗る盛大なり
 き▲保勝會の宴遊 春川保勝會は
 十八日正午より春川の名勝昭陽亭修

明安遊會を催し、擬定店鋪酒店
 並に其他本郡名産の華岳山の犬野
 降汁をも提供す此盛會ならむ
 教練射擊 春川警察署に於ては
 日野上署長以下三十六名陸軍射
 に於て秋季教練射擊を施行し高
 馬部長なりを慕ふ演習會

脚を止むる者多き邑内又清
 良民親善を圖り決力發展
 あるを以て金化堀口二郡
 道路改修を俟ち著しく發展

川仁

▲小包郵便輸入免
 於ける本年一月以
 の小包郵便輸入免

入萬餘圓前年同期の三十三

數は千九十五點にして受賞者は百
十餘名なりき▲邑内の發展 華川
は邑の東南を貫き靈巖北に響く風

仁川
 官民親善を圖り、其力發展に努
 めるを以て金化揚口二郡に通を
 止むる者多く、邑内又海濱、頗
 於ける本年一月以降十日
 の小包郵便、轉輸入額は二
 仁川
 仁川
 仁川

町歩の埋立並に開鑿をなし
 移轉の中申をなせしに八月
 に付き日下小店小屋建築中な
 来月初旬には本移轉地に於
 開始を見るに至るべし

浦木

▲船腹不足問題
 の爲め坂神方船務
 若し停泊し得

四介せるより市街地計畫並に衛生上
江障害を見ることあるを以て當地光
氏は將來を考慮し威悦停車場附近

浦木
 向歩の埋立並に開墾をなし、翌日
 移轉の申請をなせしに八月申許
 に付、日下厩小屋建築中なるを
 来月初旬には本移轉地に於ける
 開始を見るに至るべし
 船腹不足問題
 の爲め坂神方所移出賣
 著しく停滯し、貨主の

速^{ハヤ}に物^{モノ}が不^ム足^{トク}で、市^チ場^バに以^ヨて商^{シヤウ}場^{バウ}。

の
を
開
る
意

▲三國氏（油草親時大尉）▲神樂久米氏
▲大原庄太郎氏（釜山水煮組合長）
▲浦尾無類（）

十八日午後開演（）
十九日開演（）

蒙古王の姫の顔を寫生

露西亞人の愛好する日本人探検家 チヤホンスキー、スーパースター、モンゴリア、ミササギ

馬賊志望なら紹介して上まで！

馬賊志望なら紹介して上まで！

馬賊志望なら紹介して上まで！

馬賊志望なら紹介して上まで！

馬賊志望なら紹介して上まで！

馬賊志望なら紹介して上まで！

馬賊志望なら紹介して上まで！

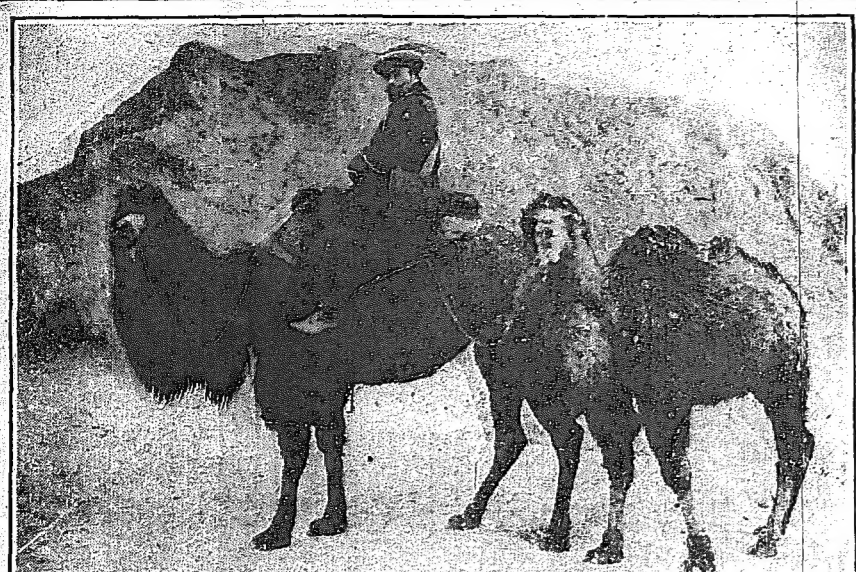
馬賊志望なら紹介して上まで！

馬賊志望なら紹介して上まで！

馬賊志望なら紹介して上まで！

馬賊志望なら紹介して上まで！

馬賊志望なら紹介して上まで！



賑ふ花柳界

新券繰番一萬二千本

賑ふ花柳界

賑ふ花柳界

賑ふ花柳界

賑ふ花柳界

賑ふ花柳界

賑ふ花柳界

賑ふ花柳界

賑ふ花柳界

賑ふ花柳界

賑ふ花柳界

賑ふ花柳界

仁川の波止場

冬枯れと細民

仁川の波止場

仁川の波止場

仁川の波止場

仁川の波止場

仁川の波止場

仁川の波止場

仁川の波止場

仁川の波止場

仁川の波止場

仁川の波止場

仁川の波止場

中空的提灯

永登浦消防演習

中空的提灯

中空的提灯

中空的提灯

中空的提灯

中空的提灯

中空的提灯

中空的提灯

中空的提灯

中空的提灯

中空的提灯

中空的提灯

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

讀者文藝

運刻する二圓の罰金

仁川商業會議所の申し合せ

運刻する二圓の罰金

運刻する二圓の罰金

運刻する二圓の罰金

運刻する二圓の罰金

運刻する二圓の罰金

運刻する二圓の罰金

運刻する二圓の罰金

運刻する二圓の罰金

運刻する二圓の罰金

運刻する二圓の罰金

運刻する二圓の罰金

大賣出最終日

但午前八時より午後五時限

大賣出最終日

大賣出最終日

大賣出最終日

大賣出最終日

大賣出最終日

大賣出最終日

大賣出最終日

大賣出最終日

大賣出最終日

大賣出最終日

大賣出最終日

吹止眞綿製防寒具

壹萬枚限り破格廉價販賣

吹止眞綿製防寒具

吹止眞綿製防寒具

吹止眞綿製防寒具

吹止眞綿製防寒具

吹止眞綿製防寒具

吹止眞綿製防寒具

吹止眞綿製防寒具

吹止眞綿製防寒具

吹止眞綿製防寒具

吹止眞綿製防寒具

吹止眞綿製防寒具

急告

大賣出最終日

急告

急告

急告

急告

急告

急告

急告

急告

急告

急告

急告

京城日報

刊日十二 (買八てせ合と刊夕)

本報は、東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各地方に支店を設け、新聞の配達を努めています。

江華島に遊ぶの記

蘇 峯 生

朝鮮正統王の御時、江華島に遊ぶの記。江華島は、朝鮮の南端にあり、海に囲まれた島である。島の風景は、雄大な山々と美しい海岸線が特徴である。島の歴史は古く、多くの王様がここに遊びに来た。島の文化は、朝鮮の伝統文化と海の文化が融合している。島の気候は、温暖で、四季を通じて遊ぶのに適している。島の食文化は、新鮮な海の産物を使った料理が豊富である。島の観光資源は、自然の美しさだけでなく、歴史的な遺跡も数多くある。島の交通は、船でしか行けず、島の雰囲気を一層引き立てている。島の観光客は、自然を満喫するとともに、島の歴史と文化を学ぶことができる。島の観光業は、島の経済を支える重要な産業である。島の観光客は、島の美しさを堪能するとともに、島の発展に貢献している。島の観光業は、島の未来を明るく照らす光である。

露國の金吸政策

露國の金吸政策は、露國の財政を安定させるための重要な手段である。露國は、金吸政策を通じて、露國の財政を安定させ、露國の経済を成長させることを目指している。露國の金吸政策は、露國の財政を安定させるための重要な手段である。露國は、金吸政策を通じて、露國の財政を安定させ、露國の経済を成長させることを目指している。露國の金吸政策は、露國の財政を安定させるための重要な手段である。露國は、金吸政策を通じて、露國の財政を安定させ、露國の経済を成長させることを目指している。

放浪漫記

放浪漫記は、放浪者の旅の記録である。放浪者は、放浪漫記を通じて、放浪者の旅の記録を記述し、放浪者の旅の経験を伝えることを目指している。放浪漫記は、放浪者の旅の記録である。放浪者は、放浪漫記を通じて、放浪者の旅の記録を記述し、放浪者の旅の経験を伝えることを目指している。放浪漫記は、放浪者の旅の記録である。放浪者は、放浪漫記を通じて、放浪者の旅の記録を記述し、放浪者の旅の経験を伝えることを目指している。

大谷光瑞

大谷光瑞は、大谷光瑞の作品である。大谷光瑞は、大谷光瑞を通じて、大谷光瑞の作品を記述し、大谷光瑞の作品の魅力を伝えることを目指している。大谷光瑞は、大谷光瑞の作品である。大谷光瑞は、大谷光瑞を通じて、大谷光瑞の作品を記述し、大谷光瑞の作品の魅力を伝えることを目指している。大谷光瑞は、大谷光瑞の作品である。大谷光瑞は、大谷光瑞を通じて、大谷光瑞の作品を記述し、大谷光瑞の作品の魅力を伝えることを目指している。

清津管見

西海生

清津管見は、清津の管見である。清津は、清津の管見を通じて、清津の管見を記述し、清津の管見の魅力を伝えることを目指している。清津管見は、清津の管見である。清津は、清津の管見を通じて、清津の管見を記述し、清津の管見の魅力を伝えることを目指している。清津管見は、清津の管見である。清津は、清津の管見を通じて、清津の管見を記述し、清津の管見の魅力を伝えることを目指している。

宗演禪話

宗演禪話は、宗演禪話の作品である。宗演禪話は、宗演禪話を通じて、宗演禪話の作品を記述し、宗演禪話の作品の魅力を伝えることを目指している。宗演禪話は、宗演禪話の作品である。宗演禪話は、宗演禪話を通じて、宗演禪話の作品を記述し、宗演禪話の作品の魅力を伝えることを目指している。宗演禪話は、宗演禪話の作品である。宗演禪話は、宗演禪話を通じて、宗演禪話の作品を記述し、宗演禪話の作品の魅力を伝えることを目指している。

新刊圖書

新刊圖書は、新刊圖書の作品である。新刊圖書は、新刊圖書を通じて、新刊圖書の作品を記述し、新刊圖書の作品の魅力を伝えることを目指している。新刊圖書は、新刊圖書の作品である。新刊圖書は、新刊圖書を通じて、新刊圖書の作品を記述し、新刊圖書の作品の魅力を伝えることを目指している。新刊圖書は、新刊圖書の作品である。新刊圖書は、新刊圖書を通じて、新刊圖書の作品を記述し、新刊圖書の作品の魅力を伝えることを目指している。

當番

當番は、當番の作品である。當番は、當番を通じて、當番の作品を記述し、當番の作品の魅力を伝えることを目指している。當番は、當番の作品である。當番は、當番を通じて、當番の作品を記述し、當番の作品の魅力を伝えることを目指している。當番は、當番の作品である。當番は、當番を通じて、當番の作品を記述し、當番の作品の魅力を伝えることを目指している。

高松宮殿下の御運動振り一二百

●馬賊に捕へらるゝ記

つて居る何時命を奪はれるか分らね
不安が皆なの面上に人聞らしい血
の色を奪つて居る私が門の内へ突込
れ
と幽かな聲で戦へながら答へた私が
又何か云はうとするとき老人は「聞
けく怖い物を云うと殺される」と

時計は何時だ」と云ふので
のかと思つて四邊を

頭をしたこれが馬賊の頭目であつた
 ても馬を束死を免れる事は能きな
 やうに迫まつて来る私は殺された

會堂名物の風は陰りを生じて吹いてゐる、道と云つて別にない唯牛車の轍の跡が深く残つてゐる許は會堂開島間の一の渡し場であつて、薄い氷の張つた篠沓寄する汀に立ちて始らく日支日露の國境を劃

である假令はコレで云へ
看破をなして 患者と飲食物

は腐敗に付着したるな口唇内に膨入し何處までもの如く所謂瘰癧傳染とも云ふべきもの

陰する水が亦重要な毒である即ちコレラ流

きつゝ、國を返すと近に遠く會臺の
市街は一夜の夢より醒めて、これか
ら活動の幕に入らうとするやうに漂
止するの已む無きに至り最後に満
初段に猪俣(おみだ)鐵道松岡(てつどうまつかわ) (武術會) 中
(武術會) 三人掛りの目撃しい試合

東京市芝區三田功通

行時
 と危険なものといふはなげばならぬ
 停留所前 雨森醫院 電二五二
 明治町 筋電二六
 野村書店
 古本なら野村

知らぬ存せぬの一點限りなりしを同
 地憲兵分遣所員が探知してさをも引
 致して嚴重取締への結果全く同人が
 並
 京城黄金町三丁目電話三八九九
 毛皮なめし専門
 金子屋

五年版現行
內閣藏

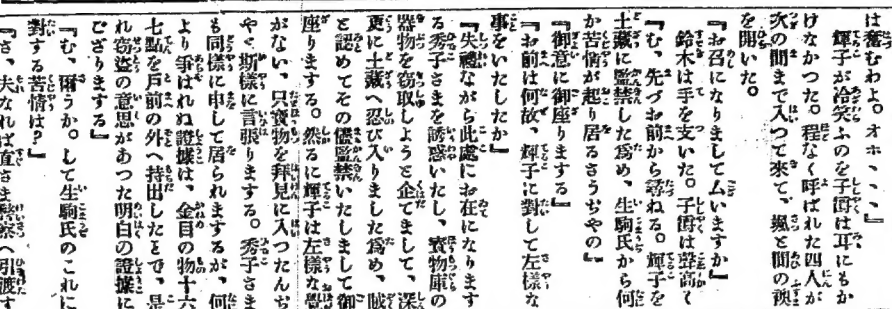
大反屋

總代理
石井吉興
河井正信

主書

ら、熱燗あつかんの蒸酒じうざりをきゆうくく

理學



は着むわよ。オホ、へ、」
輝子が冷笑ふのを千鶴は耳にもか
けなかつた。程なく呼ばれた四人が
次の間まで入つて来て、風呂間の襖
を開いた。
「お召になりまして、いいですか」
鈴木は手をついた。千鶴は聲高く
「む、先づお前から尋ねる。輝子を
土蔵に監禁した爲め、生駒氏から何
か苦情が起り居るさうぞやの」
「御意に御座りまする」
「お前は何故、輝子に對して左様な
事をいたしましたか」
「失禮ながら此處にお在になります
る秀子さまを誘惑いたし、寶物庫の
器物を窃取しようと思つて、深し
更に土蔵へ忍び入りました爲め、御
座りなす。然るに輝子は左様な學
がない、只寶物を発見に入つたんぞ
や。斯様に言暇りまする。秀子さま
も同様に申して居られますが、何
より爭はれぬ證據は、金目の物十六
七兩を戸前の外に出したとき、是れ
窃盜の意思があつた明白の證據に
ござりますか」
「む、爾うか。して生駒氏のこれに
對する苦情は」
「さ、夫なれば直ぐまゝ生駒氏へ引渡す

べき筈であるのに、十数日の間監禁したまふであつたのは、不法行爲だと慫慂申すのでございます。個様の

「よし／＼分つた。すると如何すれば、

「どうぞ謝罪懺悔の意思を表示して下さい」

十夜吟
莖漬 浮碧樓
今年も来る漬菜賣待たるゝ

○ 坡 柳
藁一ト抱に莖石ふるも
莖石沈む日々の物影あわし

井戸端莖桶に水張る日數
莖押すさらくと聲

約三割の増加と見られ居る外に、
洲茂元

者の心鏡に

[illegible][illegible]

花柳病科專門

梅毒 淋病 白濁 尿道炎 生殖器病
● 九病 紅門 疳疔 皮膚病
● 婦人病 神效 養血
● 六病 注包 皮他手 兩時
● 診察 無料 入院 隨時
京師長谷町南大門通寶泉裏

司生堂醫院

京城黃金町二丁目
永樂町寶泉所北入
堀佐營業所
(電話六三九番)

するといふ

するといふ事は腦神經の療法中最も重要な事の一つである。併し、世に種々の薬を快くするといふよりも更に同時に腦神經に直接の効を及ぼすといふ風な薬があれば其れは實に根本的に効果のある良薬と言ねばならぬ。健腦丸は即ち此種の良薬、最も効驗として知られた薬である。腦神經の弱く病着て健腦丸に依て病根を收め見違へる様に快活な明快な人にかつた人は幾らもある。又健腦丸の効用上を指し下へ便通を快くする効に依て便秘士、頭痛等の快つた人も無算である。さればこそ健腦丸は腦神經療養として又腦神經の痛に伴ふ諸々の故障に對する最も有効な薬として其療防の持薬として厚く信用を以て廣く世に用ひられてゐるのである。

[illegible]

易い。斯ういふ病者は勿論頭
 痛しう使ふ人逆上頭痛便秘重
 脈又は物事に倦み根氣が弱り満
 ね事が夢暗に心配になり記憶力減
 物思ひ多様な人達が健腦力を用ひ
 は目に見えて少くある、又清好の
 々は健腦元を健健維持致して
 中や中風を未發に防ぐ效もある、
 素腦の弱き人は本藥を常用すれば
 腦力を増し頭腦を明快にし腦充血
 治する効がある。藥價は三十錢か
 五錢定額、あつて本舖は大阪心齋
 東京沼津、町の丹平、商會、全國海
 の各藥店に取次してゐる。

藏書

朝鮮特産

純人蔘精

本剤の奏効絶對に確實なる
「當分定價の二割引」
 を以て提供
 業者の申込に應ず 電

ばいりん病

製法に斷斷無く改良を加へて行くか
 競争試験に應じました。詳細は拾月檢
 査に於て。週間分普通道通商社に於て發
 見も 伏見親王の御宮家の御

杉村楚
 冠著
 村井著
 知至著
 聲

弱者
 聲

東京
 城
 發賣


外 橋らを記(半)辛大れじら木を

銀行一般の業務精々御
爲換取組先内地各方

★
株式會社
京城本町
百三十三
頭

資本金 五

のきすのは



用命を拜したる人羣界の大王
 胸を必要とす
 日を七日分 一四八分
 日を七日分 一四八分
 日を七日分 一四八分
 日を七日分 一四八分

京城府長谷川町五八番地
 朝鮮製藥專賣所
 電話一三〇九
 振替口座京城三八一〇番

天津灘
 大塚醸造所吟製
 前田酒店
 電話一三七番
 振替口座 四二五番
 定価四十二圓
 瓶價十二圓
 宗錦標
 城一箱
 半四箱
 五口

青年の前途、資料十銭
 一の快樂、定価四十銭
 試験問及解答、定価六十銭
 目丁二田
 五一一座

疳積微毒藥

[illegible][illegible]

難山 本町 金山 一國 神板行
 君秀 吉有 月十八 日後四時出帆
 代九 十九 月十六 日後四時出帆
 九十九 月十六 日後四時出帆
 電報 五十九 月十六 日後四時出帆
 杉 河 漕 部

阿 共同汽船 出帆
 芝罘 大連行 開張都府役船
 共同丸 廿一日正午出帆

仁川代理店 野口商會
 元山代理店 三田口 回漕部
 京城大店 河村運送店

〇〇〇
鏡昌
咸平
丸丸

江原丸	公州丸	宗信丸	海州丸	三浦丸	江陵丸	襄陽丸	平壤丸	忠清丸	元山丸	元山丸
大連芝形	各港船	各港船	各港船	各港船	各港船	各港船	各港船	各港船	各港船	各港船
十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月	十月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
仁川發	木浦發	仁川發	仁川發	釜山發	釜山發	釜山發	釜山發	釜山發	釜山發	釜山發

○普賢丸	○智永丸	○各港往來船行	○大阪商船出帆	○各港往來船行	○普賢丸	○智永丸
十一月廿一日	十一月廿一日	每日午前	十一月廿二日午後五時出	十一月廿二日午後五時出	十一月廿一日	十一月廿一日
仁荷渡	仁荷渡	仁荷渡	仁荷渡	仁荷渡	仁荷渡	仁荷渡

[illegible]